

百人一首 ( 歌番号 : 26 ~ 30 )

有明の  
つれなく見えし  
別れより  
暁ばかり  
憂きものはなし

みぶのただみね  
壬生忠岑



心あてに  
折らばや折らむ  
初霜の  
置きまどはせる  
白菊の花

おおしこうちのみつね  
凡河内躬恒



山里は  
冬ぞさびしき  
まさりける  
人目も草も  
かれぬと思へば

みなもとのもねゆきあそん  
源宗于朝臣



みかの原  
わきて流るる  
いつみ川  
いつみきとてか  
恋しかるらむ

ちゅうなごんかねすけ  
中納言兼輔



小倉山  
峰のみぢ葉  
心あらば  
今ひとたびの  
みゆき待たなむ

ていしんこう  
貞信公



あかつきば  
かりうきも  
のはなし

おきまどわ  
せるしらぎ  
くのはなし

ひとめもく  
さもかれぬ  
とおもえば

いつみきと  
てかこいし  
かるらん

いまひとた  
びのみゆき  
またなん